

デザインと安全性を両立した製品作り

日本の経済状況は厳しい状況ですが、「ものあまり」の時代と言われている中にありますので、生活道具を作っている当社では、椅子は座れば良いというだけでなく、機能性や座り心地の良さを兼ね備えていること、テーブルであれば、食事がよりおいしく感じられるといった付加価値がなければ自分たちの製品を買ってもらえないと考えています。

エンドユーザーが当社の製品を使うと暮らしが豊かになる、そういう風を感じてもらえるものでなければなりません。

そのためには、デザインや機能性、素材に徹底的にこだわったものづくりを心がけています。

また、自然素材を使用しているのも、素材を活かしたデザインも大切にしています。

デザインを大切にしていますが、生活道具であることから、形だけにこだわりのではなく、何より安全性を一番大切にしたものづくりを行っています。



代表取締役 桑原 義彦 氏



yamanami

社外デザイナーとは 価値観の共有が重要

製品開発は、社内で開発する場合や社外デザイナーが考えたものを製品化する場合の両方があります。最近では、社内デザインだけの開発は難しいので、社外デザイナーと一緒に製品開発している例が多いです。

一緒に仕事をしていくデザイナーには、当社のコンセプトや考え方を十分に理解してもらうことが必要ですし、デザイナーの思いも互いに感じあえないと上手くいきません。製品化に向かって、困難なことも常に一緒に考え取り組んでいます。

インハウスデザイナーである業天昭人部長は、デザインの勉強をしてきており、入社から3年間は工場現場でものづくりに携わっていました。デザインとものづくりの両方を理解しているので、社外デザイナーとの調整は、業天部長を通じて行います。

大まかな製品開発の流れは、社外デザイナーからデザインの提案を受け、工場へ試作の手配を行います。試作の際には、椅子であれば座り心地や形などを考慮して行います。

また、安全性が最も大切なので、製品の強度試験を重ね、品質上問題ないか確認します。

こうした中で、デザインの修正の調整もあり、強度などの品質とデザイン性が両立し、最終的に工場で量産化できるまで、約1年かかります。



業天 昭人氏

複雑なデザインの製品作りにも果敢に挑戦

世の中にあるデザイン・技術的に難しいデザインを製品化する場合、作り手には難しいものに挑戦したいという気質が必要です。人がやりたがらない難しいことへ挑戦することは、作り手としての技術力の向上にも繋がります。

しかし、簡単に作ることができるものは、作り手の利便性を考え、効率的に製作できるデザインとも言えます。複雑なデザインを製作することとは違った利点があり、簡単に作れるもの、複雑で難しいもののどちらが良い・悪いということではありません。

何も無いところからものを作り出す「無」を「有」にする「ものづくり」は、どのような担当の仕事でも重要であることに違いありません。



マーブルスツール



マッシュルームスツール



リデザインすることで自社を代表する商品へ

当社では、カタログ更新のタイミング(約2年ごと)やユーザーの要望などを受け、リデザインやリニューアルしながら、販売を続けています。リデザインをすることで、様々な変化が起きた製品をご紹介します。

公共施設や高齢者福祉施設で広く使われていた「マーブルスツール」の座面を一回り小さくし、リデザインした「マッシュルームスツール」は、インテリアショップでも販売され、合計4万脚売り上げるなど、当社を代表する商品に生まれ変わりました。

リデザインするきっかけは、アッシュコンセプト株式会社の名児耶 秀美代表取締役から、アドバイスをいただき、座面を小さく、ハイスツールで狭い住空間のあらゆるシーンで使用可能な現在の形になりました。マーブルスツールは家具ルートで販売していましたが、マッシュルームスツールはインテリアショップで販売されるようになるなど、販路にも変化がありました。

マッシュルームスツールは、張地を変えることによって、販売店舗オリジナルの製品として販売されていますし、エゾ鹿革を使用し、道産タモ材を使用した製品は、東神楽町のふるさと納税の返礼品にもなりました。

会社概要

【所在地】 上川郡東神楽町南1番通24番地

【TEL】 0166-83-4400 【FAX】 0166-83-4600

【事業内容】 特注木製家具・家具備品各種、テーブル、デスク、椅子、飾り棚等の製造・販売

【従業員数】 40名

【設立年】 1979年

【URL】 <https://takumikohgei.com/>